

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年11月8日

**【四半期会計期間】** 第64期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** ハビックス株式会社

**【英訳名】** HAVIX CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 木村敏之

**【本店の所在の場所】** 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

**【電話番号】** 058 - 296 - 3911(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 窪田博昭

**【最寄りの連絡場所】** 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

**【電話番号】** 058 - 296 - 3911(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 窪田博昭

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期 連結累計期間	第64期 第2四半期 連結累計期間	第63期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,376,336	5,079,393	8,733,366
経常利益 (千円)	366,684	269,672	612,524
四半期(当期)純利益 (千円)	214,383	233,695	348,757
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	211,757	238,382	377,177
純資産額 (千円)	4,825,997	5,151,302	4,991,417
総資産額 (千円)	8,952,143	9,394,372	10,469,739
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	27.46	29.94	44.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	53.9	54.8	47.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	544,360	3,944	856,215
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	281,077	561,803	839,230
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,945	527,043	996,901
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	896,537	560,294	1,645,195

回次	第63期 第2四半期 連結会計期間	第64期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.14	20.10

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高を背景に改善の動きがみられたものの、欧州経済の低迷、中国経済の成長の減速等の影響もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、化合繊不織布を中心に販売拡大に積極的に取り組んだことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は50億79百万円(前年同期比16.1%増)となりました。一方、利益面につきましては、全社あげてのコスト削減の推進に取り組んでまいりましたが、円安による原燃料価格の上昇の影響等があり、営業利益は2億61百万円(同32.5%減)、経常利益は2億69百万円(同26.5%減)となりました。四半期純利益は本巢工場建設に伴う補助金収入があったことから2億33百万円(同9.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a . 不織布関連事業

パルプ不織布原反は、オシボリ用途が堅調に推移したことにより売上高が増加しました。パルプ不織布加工品は、既存のOEM製品の販売が堅調に推移したことに加え、新たなOEM製品の取り扱いが増えたことにより売上高が増加しました。化合繊不織布は、昨年12月に新設した本巢工場が順調に稼働し、紙オムツ向け製品の販売数量が大幅に伸長したことにより売上高が増加しました。その他不織布は、自動車部材向け製品の販売数量が伸び悩んだものの、食品工場向け製品の販売が堅調に推移したことにより売上高が増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億33百万円(前年同期比26.8%増)、セグメント利益は3億50百万円(同19.9%減)となりました。

#### b . 紙関連事業

衛生用紙は、国内外の紙オムツ向け製品の販売数量が伸長したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は22億46百万円(前年同期比4.9%増)、セグメント利益は2億78百万円(同12.7%減)となりました。

## (2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度に比べ10億75百万円減少して93億94百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億58百万円、電子記録債権が1億75百万円増加したものの、現金及び預金が10億84百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ12億35百万円減少して42億43百万円となりました。これは、借入金が4億32百万円、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が5億10百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1億59百万円増加して51億51百万円となりました。これは、利益剰余金が1億55百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は54.8%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より10億84百万円減少して5億60百万円となりました。

### a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金は3百万円(前年同期比5億40百万円減)となりました。これは、売上債権の増加3億33百万円、仕入債務の減少1億90百万円、法人税等の支払1億77百万円等により資金を使用しましたが、税金等調整前四半期純利益3億85百万円、減価償却費2億15百万円、たな卸資産の減少1億18百万円等により資金を獲得したことによるものであります。

### b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は5億61百万円(前年同期比2億80百万円増)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出5億75百万円等により資金を使用したことによるものであります。

### c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は5億27百万円(前年同期は1百万円の獲得)となりました。これは、短期借入金の減少2億50百万円、長期借入金の返済1億82百万円、配当金の支払77百万円等により資金を使用したことによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は22百万円であります。

## (6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因および経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

## (7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営者の問題認識と今後の方針に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,175,280	8,175,280	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	8,175,280	8,175,280		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		8,175,280		593,660		603,260

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
酒 井 正 吾	岐阜県各務原市	683	8.36
福 村 善 光	岐阜県岐阜市	654	8.01
ノムラピーピーノミニーズ ティーケーワンリミテッド (常任代理人 野村證券株式会 社)	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋1丁目9-1)	442	5.41
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地	385	4.71
岐阜信用金庫	岐阜県岐阜市神田町6丁目11番地	376	4.60
丸紅株式会社	東京都千代田区大手町1丁目4-2	340	4.16
ドイチェ バンク アーゲー ロンドン ピーピー ノントリ ティー クライアーツ 613 (常任代理人 ドイツ証券株式 会社)	TAUNUSANLAGE 12, D-60325 FRANKFURT AM MAIN, FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY (東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー)	301	3.68
株式会社大垣共立銀行 (常任代理人 資産管理サービ ス信託銀行株式会社)	岐阜県大垣市郭町3丁目9-8 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオ フィスタワーZ棟)	300	3.67
ハビックス従業員持株会	岐阜県岐阜市福光東3丁目5-7	295	3.61
福 村 大 介	東京都葛飾区	264	3.23
計		4,041	49.44

(注) 1 当社は、自己株式369,807株(4.52%)を保有しておりますが、議決権がないため上記の大株主より除外してあります。

2 タワー投資顧問株式会社から平成23年2月16日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書の変更報告書により平成23年2月15日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の有無の確認ができておりませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下の通りであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
タワー投資顧問株式会社	東京都港区芝大門1丁目2番18号 野依ビル2階	784	9.59

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 369,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,772,000	7,772	
単元未満株式	普通株式 34,280		
発行済株式総数	8,175,280		
総株主の議決権		7,772	

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ハビックス株式会社	岐阜県岐阜市福光東三丁目5番 7号	369,000		369,000	4.51
計		369,000		369,000	4.51

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,201,097	1,116,260
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 2,871,826	3,030,428
電子記録債権	-	175,324
商品及び製品	197,428	199,209
仕掛品	11,313	11,431
原材料及び貯蔵品	421,776	301,630
その他	145,307	113,460
貸倒引当金	23,727	23,727
流動資産合計	5,825,023	4,924,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,115,608	3,124,951
減価償却累計額	1,681,981	1,725,468
建物及び構築物(純額)	1,433,627	1,399,483
機械装置及び運搬具	6,082,758	6,162,930
減価償却累計額	4,504,452	4,646,572
機械装置及び運搬具(純額)	1,578,305	1,516,357
土地	1,070,586	1,070,586
その他	295,063	249,552
減価償却累計額	148,726	161,264
その他(純額)	146,337	88,287
有形固定資産合計	4,228,856	4,074,714
無形固定資産		
のれん	8,179	-
その他	41,557	31,663
無形固定資産合計	49,737	31,663
投資その他の資産		
その他	384,502	382,356
貸倒引当金	18,380	18,380
投資その他の資産合計	366,122	363,976
固定資産合計	4,644,716	4,470,354
資産合計	10,469,739	9,394,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>1</sup> 1,754,027	1,563,427
短期借入金	684,342	485,400
未払法人税等	176,409	110,914
賞与引当金	99,390	102,365
役員賞与引当金	40,000	20,000
その他	<sup>1</sup> 891,234	345,572
流動負債合計	3,645,405	2,627,678
固定負債		
長期借入金	1,451,885	1,218,285
退職給付引当金	135,823	131,343
その他	245,206	265,761
固定負債合計	1,832,915	1,615,390
負債合計	5,478,321	4,243,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	603,260	603,260
利益剰余金	3,822,999	3,978,631
自己株式	68,938	69,372
株主資本合計	4,950,981	5,106,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,436	45,123
その他の包括利益累計額合計	40,436	45,123
純資産合計	4,991,417	5,151,302
負債純資産合計	10,469,739	9,394,372

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,376,336	5,079,393
売上原価	3,267,754	4,080,481
売上総利益	1,108,581	998,912
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 721,095	<sup>1</sup> 737,379
営業利益	387,485	261,533
営業外収益		
受取利息	92	95
受取配当金	3,845	3,942
為替差益	-	5,953
受取保険金	-	5,000
その他	6,237	7,774
営業外収益合計	10,175	22,764
営業外費用		
支払利息	6,757	10,021
シンジケートローン手数料	14,319	-
その他	9,900	4,603
営業外費用合計	30,977	14,625
経常利益	366,684	269,672
特別利益		
補助金収入	-	115,710
特別利益合計	-	115,710
特別損失		
投資有価証券評価損	1,618	-
特別損失合計	1,618	-
税金等調整前四半期純利益	365,066	385,382
法人税、住民税及び事業税	173,220	112,722
法人税等調整額	22,537	38,964
法人税等合計	150,682	151,687
少数株主損益調整前四半期純利益	214,383	233,695
四半期純利益	214,383	233,695

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	214,383	233,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,626	4,687
その他の包括利益合計	2,626	4,687
四半期包括利益	211,757	238,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,757	238,382
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	365,066	385,382
減価償却費	171,595	215,570
のれん償却額	8,179	8,179
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,889	-
賞与引当金の増減額(は減少)	24,723	2,974
役員賞与引当金の増減額(は減少)	16,000	20,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,523	4,479
受取利息及び受取配当金	3,938	4,037
支払利息	6,757	10,021
投資有価証券評価損益(は益)	1,618	-
補助金収入	-	115,710
売上債権の増減額(は増加)	26,403	333,926
たな卸資産の増減額(は増加)	128,735	118,247
仕入債務の増減額(は減少)	14,285	190,600
その他	14,201	8,296
小計	659,884	79,918
利息及び配当金の受取額	3,940	4,159
利息の支払額	5,364	7,787
保険金の受取額	-	5,000
補助金の受取額	-	100,000
法人税等の支払額	114,100	177,345
営業活動によるキャッシュ・フロー	544,360	3,944
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	274,020	274,085
定期預金の払戻による収入	223,952	274,020
有形固定資産の取得による支出	178,466	575,606
投資有価証券の取得による支出	25,774	9,270
投資有価証券の売却による収入	-	7,998
投資有価証券の減資による収入	-	54,365
会員権の取得による支出	-	5,052
貸付けによる支出	26,826	34,172
その他	57	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	281,077	561,803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	90,000	250,000
長期借入れによる収入	352,000	-
長期借入金の返済による支出	165,942	182,542
自己株式の取得による支出	115	434
配当金の支払額	77,725	77,457
その他	16,271	16,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,945	527,043
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	265,228	1,084,901
現金及び現金同等物の期首残高	631,309	1,645,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 896,537	<sup>1</sup> 560,294

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	120,727千円	
支払手形	301,844千円	
設備関係支払手形	476,288千円	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運賃及び荷造費	260,043千円	283,511千円
役員報酬	68,700千円	69,846千円
給料及び手当	109,190千円	119,099千円
賞与引当金繰入額	40,231千円	32,498千円
役員賞与引当金繰入額	20,000千円	20,000千円
退職給付費用	11,823千円	3,808千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	1,452,373千円	1,116,260千円
預入期間が3か月を超える定期預金	555,835千円	555,966千円
現金及び現金同等物	896,537千円	560,294千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	78,067	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	78,063	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,234,718	2,141,618	4,376,336		4,376,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,234,718	2,141,618	4,376,336		4,376,336
セグメント利益	438,165	318,659	756,825	369,339	387,485

(注) 1 セグメント利益の調整額 369,339千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	2,833,176	2,246,216	5,079,393		5,079,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	2,833,176	2,246,216	5,079,393		5,079,393
セグメント利益	350,798	278,062	628,860	367,327	261,533

(注) 1 セグメント利益の調整額 367,327千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27.46円	29.94円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	214,383	233,695
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	214,383	233,695
普通株式の期中平均株式数(株)	7,806,396	7,805,625

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月5日

ハビックス株式会社  
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内山 隆 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているハビックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ハビックス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。